

輪軸組立作業に関する点検結果について

2024（令和6）年9月30日

東急電鉄株式会社

■ お知らせ発信の経緯（詳細）

- 9月12日 国土交通省通達を踏まえ**緊急点検を開始**
- 9月13日 株式会社総合車両製作所（以下J-TREC）に当社による立ち入り検査の実施
（データ差し替えがないことを確認、圧入記録の確認）
- 9月19日 対象となる全軸数の**緊急点検終了**
- 9月20日 J-TRECからの報告を受け、お知らせ発信
- ・データ差し替えはなし
 - ・世田谷線7軸は目安値を最大約5%を上回っていたが、定期的な検査により安全を確認
 - ・鉄道線228軸は圧入力値記録がなかったが、定期的な検査により安全を確認
- 9月24日 J-TRECより「圧入力値の検査成績表の数値を差し替えていた」旨報告あり
差し替え以前の数値を受領し全車両の検査データの**再点検を開始**
- 9月27日 対象となる全軸数の**再点検を終了**し、お知らせ発信
- ・データ差し替えの発生を確認
 - ・許容範囲を超過、もしくはその疑いのある輪軸が計 3 3 軸あることが判明
 - ・数値に応じ対応（車輪交換、超音波探傷検査）を実施

■ 点検対象

鉄軌道8路線 5,232軸（1,307両）

■ 再点検の概要

当該作業の委託先であるJ-TRECより測定結果に差し替えがあったとの報告を受け再点検を実施。許容範囲（圧入力値の目安値の+10%）を超過、もしくはその疑いのある輪軸が計33軸あることが判明。

■ 再点検結果に基づく当社の対応

定期的な超音波探傷検査や車輪間隔（バックゲージ）等の測定により、安全上の問題がないことを確認しているが、加えて以下対応を実施。

（1）目安値上限の超過が20%以上のもの（3軸）

速やかに車輪交換を実施

（2）目安値上限の超過が10%以上20%未満のもの（18軸）

臨時の超音波探傷検査を速やかに実施

（3）圧入力値が確認できなかったもの（4軸）

速やかに車輪交換を実施

■ 今後の対応

- ・委託業務に関する管理体制及び契約内容・規格等の見直しを実施するとともに同様の事例がないか社内点検を実施する
- ・委託先であるJ-TRECに対し再発防止を求めるとともに、緊急監査等を検討